

Allplan 2019 Upgrade

BIM・CIM/IFC対応3次元土木建築CAD

3D配筋対応

Engineering
Cubed
日本語版
¥720,000
英語版
¥860,000

Exponential
日本語版
¥980,000
英語版
¥1,130,000

Windows 7/8/10 対応

IFC 3D PDF

体験セミナー

開発: Allplan社 <http://www.allplan.com>

ドイツのCADメーカーAllplan社により開発されたBIM/CIM統合ソリューション。基本図面、レンダリングイメージやプレゼン映像、詳細施工図、数量算出、積算など、建物のライフサイクルに必要なあらゆる情報を連続的に設計・表現できます。汎用CADの基本的な描画機能とともに、建築・建設CADとしての様々な部材を保有しており、3D表示、レンダリング、数量計算、プレゼン用のデータ加工まで行うことができます。

【インターフェース】

- 高機能なスナップツールを備えた作図カーソルにより、作業効率のアップを実現
- 2D図面で行った作図・編集は3D画面の立体モデルに即反映
- オブジェクトナビゲーター: 図面、レイヤー、種類ごとにリスト化し表示

【プレゼンテーション】

- レンダリングによる高画質なイメージ作成、
- 気象・季節表現、日影計算、光源、照明シミュレーションなどが可能
- CINEMA 4Dモデリングツールをダイレクトに活用可能

【多彩な高機能オブジェクトと部材作成ツール】

- 柱、梁、床、壁などの基本的な部材作成ツールに加え、高機能オブジェクト(窓、ドア、階段、ファサードなどの部材)を用いて建物モデルを作成
- 平面図、立面図、アイソメトリック図で構造部材やオブジェクトの入力・編集を行うと、3D画面の立体モデルに変更がリアルタイムで反映
- 部材の結合、切断、交差、部材表面の貫通など直感的に確認しながら操作可能
- SmartParts (パラメトリック): 強力な3Dモデリング機能を使用、インテリジェントに動作するロジックパラメータを持っているオブジェクトを作成可能

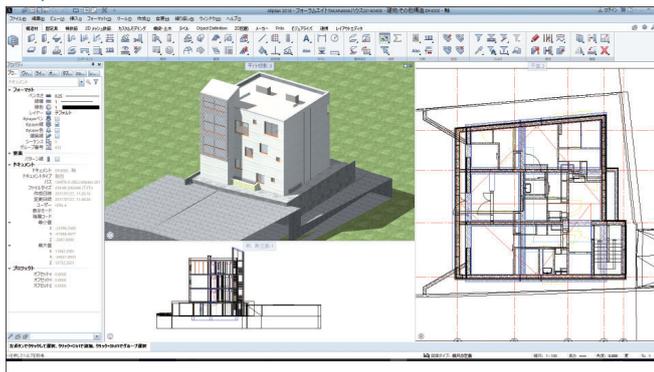
【2D作図/3Dモデル】

- 2D図面で外部ファイル参照可能なXRef機能、繰り返し利用する部材を定義して3Dモデルの作図を行うスマートシンボル機能など、多彩な機能を用意
- 作成した3Dモデルから任意の断面図を切り出し可能
- CineRenderへのアンビエントオクルージョン: 部屋の隅など暗くなる効果に対応

【配筋図】

- オブジェクトベースの一般的な配筋や自動シェルエッジ認識
- あらかじめ用意された鉄筋グループの定義、高度なテキストなどの機能
- ウィザード機能を利用、作成した配筋図から加工図作成も可能

▼Allplan Architecture



【数量計算】

- 鉄筋、型枠コンクリートなどの構造数量、壁材や床材などの仕上げ数量まで、体積・面積・重量などさまざまな構造部材の数量計算が可能
- 計画→詳細設計→数量計算→概算工事費算出の一連の作業が、AllplanのBIM対応ソリューションによって実現

【データ連携】

- IFC形式など、さまざまな3D・2Dのファイル形式でのデータ交換が可能
- フォーラムEIT製品との連携により、建物エネルギー、火災・避難、氾濫、交通ネットワーク、構造などの各種解析と、VRIによる可視化のシミュレーションが可能
- LandXMLのインポート: 地形点、平面線形のインポートが可能
- IFC4出力、項目の設定編集に対応

建設 IT ガイド 2011 ((財) 経済調査会刊) の「BIMで変える! BIM ツール徹底検証」で Allplan(Architecture) が取り上げられました。
建設 IT ガイド HP : <http://it.kensetsu-plaza.com/cad/>

Allplan2019 IFC検定合格

検定MVD名称 土木モデルビュー定義2018

検定区分 入力2:CAD系
認定番号 CVL01-i-1805
認定日 2019年4月18日



検定区分 出力
認定番号 CVL01-e-1810
認定日 2019年5月28日



Allplan 2019 改訂内容

2019年1月22日リリース

1. 直感的なフロアレベルと平面の管理
2. 最適化されたプロパティパレット
3. 段階のモデリング機能改善
4. ビューとセクションの生成機能の拡張
5. オブジェクトパレットの改善
6. 新しいグリッド機能
7. IFC4インターフェイスの拡張

▼Allplan Engineering

